

## 東京演劇道場 オーディション／ワークショップ

12月13日(木)~19日(水) 都内

## DōJō



## 「東京演劇道場」開設!

## 野田秀樹芸術監督10年目の新たな取り組み!

野田芸術監督は就任以来、劇場における人材育成事業に精力的に関わっています。英国留学時代に参加した数々のワークショップから、創作につながる刺激を受けてきた経験とネットワークを生かし、キャサリン・ハンター、リロ・パウワーといった第一線で活躍する舞台人を招いて、ワークショップ等を実施してきました。演劇専攻の学生や俳優養成所で学ぶ多くの人たちが、卒業後に演劇に関係した仕事に就けていないことや、単発のワークショップでは成果が継続的に蓄積されることが簡単ではない現状などを踏まえ、このたび新たに特に若い世代の俳優としてのポテンシャルにじっくり向き合える場を開くことと致しました。

その名も「東京演劇道場」。野田および国内外の優れたアーティストが指導にあたり、真の芝居人として生きていくことを目指す人に、プロフェッショナルの技や志を伝えていきます。ふるってご応募ください。

【お問合せ】東京芸術劇場 03-5391-2111 (代)

応募方法など詳細はHPへ

## 集まれ! 池袋みんなの大道芸

無料

9月8日(土)~11月4日(日) 劇場前広場



ユキンコアキラ

ゴールデンウィークに賑わいをみせた「集まれ! 池袋みんなの大道芸」を引き続き9月より開催。

アクロバットパフォーマンス、パントマイム、マジック、滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演! ポールやディアポロなどの技にチャレンジできる「チャレンジ広場」も同時開催します。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

詳細はHPへ

## 芸劇+まちがく 北川フラム × 山下洋輔

10月5日(金) 18:30開始 シンフォニースペース



山下洋輔

©Jimmy &amp; Dena Katz

アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのパイオニアである北川フラム氏をモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、各回テーマに即したゲストを招き行っているフォーラム「芸劇+まちがく」。10月5日の第5回は、「ジャズ(音楽)による都市への浸み出し」と題し、山下洋輔氏をゲストに演奏とトークを実施。

料金:一般 3,000円 学生 2,000円 (軽食付)

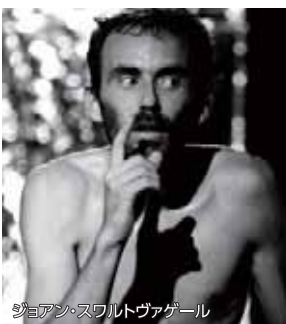
【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

詳細はHPへ

## ストリートアーティスト・アカデミー

関連レクチャー&amp;特別ワークショップ

11月20日(火)~24日(土) リハーサルルームL ほか



ジョアン・スワルトヴァーゲル

©Emmanuel Chauveau

フランスより、コンテンポラリー・サーカスの第一人者ジョアン・スワルトヴァーゲル氏を招聘し、ストリートパフォーマーのためのワークショップを開催。また11月20日には、ジョアン氏とコンテンポラリー・サーカス研究者であるアガタ・デュモン氏を迎え、ヨーロッパにおけるストリートパフォーマンスおよび教育プログラムの現状等について語るレクチャーを実施します。

レクチャー

日程:2018年11月20日(火)

会場:انسティチュ・フランセ東京 エスパス・イマージュ  
ワークショップ

日程:2018年11月21日(水)~11月24日(土)

会場:リハーサルルームL

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

詳細はHPへ

東京芸術劇場×ITI

## 紛争地域から生まれた演劇シリーズ10

12月13日(木)~16日(日) アトリエウエスト



2017年

『朝のライラック(ダーイシュ時代の死について)』より

©石澤知昭子

同時代の優れた海外戯曲をリーディング公演とトークで紹介するシリーズ。今回は、イスラエル出身のヤエル・ロネンがベルリンで旧ユーゴスラビア出身の俳優たちと手がけた『コモン・グラウンド』と、アフガニスタンに従軍したカナダ兵士が見えざるメディアからインタビューを受ける、という設定で戦場の人間心理を浮き彫りにする『これが戦争だ』の2本を、日本語初訳・初演でご紹介します。

上演作品 『コモン・グラウンド』

作:ヤエル・ロネン&amp;アンサンブル 訳:庭山由佳 演出:小山ゆうな(雷ストレンジャーズ)

『これが戦争だ』

作:ハナ・モスコビッチ 訳:吉原豊司 演出:生田みゆき(文学座)

料金:【全席自由】1,500円(各回とも)

【お問合せ】国際演劇協会日本センター(ITI) 03-3478-2189

詳細はHPへ